

## ■ 施設の取り組み

### ● 施設内全般

- 施設内のドアノブや手すり等、不特定多数の方が触れやすい場所の消毒を適宜行います。また、施設内の換気について十分な対応をとります。
- 施設入口に手指消毒用の消毒液を設置し、不足が生じないように定期的な点検を行います。

### ● ロビー・休憩スペース

- 窓等を定期的に開放し換気に努めます。
- 椅子やテーブル等、利用者が触れる物品の消毒を適宜行います。

### ● トイレ

- 不特定多数の方が接触する場所は、清掃・消毒を適宜行います。
- 洋式トイレをご利用いただく方に対し、蓋を閉めて汚物を流すよう、POP等の表示で促します。
- 飛沫防止のためハンドドライヤーを停止し、ペーパータオルの設置を行います。また、不足が生じないように定期的な点検を行います。

### ● 受付業務

- 受付窓口には飛沫防止の亚克力板を設置し、それを隔てて対応します。
- 受付窓口には、ロビー側・事務室側それぞれに消毒液を設置します。スタッフが対応する際には必ず手指の消毒を行い、また、利用者様にも手指の消毒の実施を促します。
- 各室の鍵・貸出し物件・備品は、適宜消毒します。
- 月初めの一斉受付については、当面の間、対面受付を中止し電話のみでの受付とします。

### ● 舞台業務

- 舞台仕込みの際、設営スタッフ同士が密接・密集しないよう注意を払います。また、通常より余裕を持ったスケジュールで準備します。
- 備付け物件については適宜消毒します。
- 舞台に関係する工具（個人の工具含む）は、スタッフ間で使い回ししないよう注意を払います。
- 作業時に着用するヘルメットやハーネスはスタッフ間で使い回ししないよう注意を払います。
- 利用者様が密にならないよう、人と人が触れ合わない程度の距離を確保してもらうよう促します。
- 利用者様との打合せは出来る限り広い空き室（又は舞台上）で、ゆとりをもった距離を確保し対応します。
- 飛沫が起りやすい吹奏楽・管弦楽・合唱・ダンス・バレエ等については細心の注意を払い、利用方法・利用人数・立ち位置等のアドバイスを積極的に行います。

## ■ 施設の取り組み【続き】

### ● 清掃業務

- 清掃用具は常に清潔に保ちます。また、布巾・雑巾は長期間使い回しせず、出来る限り短い期間で交換します。
- スタッフは1作業ごとにこまめな手洗いを行います。
- 生ゴミや汚物等の処理の際、スタッフの衣服が汚れた場合はすみやかに交換します。また、処理の際に使用する雑巾等は必ず廃棄します。
- 施設内のドアノブや手すり等、不特定多数の方が触れやすい場所の消毒を適宜行います。

### ● 全スタッフの体調管理

- 出勤前に自宅での検温・体調の確認を行い、以下の症状がある場合には出社しません。以後、状況に応じて自宅待機等の対応を取り、経過観察を行います。  
※ 37.5度以上の発熱(または37.5度未満でも平熱より高い場合)、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等
- また、前述と同様の症状を持つ方が同居者に居る場合、スタッフ本人においても経過観察を行います。

### ● スタッフの感染予防対策

- 2023年3月13日(月)以降も当面の期間、全てのスタッフは勤務中のマスクの着用を義務づけます。
- スタッフはこまめに手洗いや手指消毒を行います。  
スタッフのユニフォームや衣服はこまめに洗濯します。
- 従事中、気分が悪くなったり発熱した場合は途中退社し、以後経過観察を行います。

### ● スタッフの管理・指揮系統

- 各セクションチーフを下記の通り定め、直属スタッフの体調管理・監督を行います。  
総務グループ 西村 恵子  
舞台グループ 工藤 拓也  
清掃グループ 工藤 敏明  
統括管理者 谷山 芳明、竹内 恭平